

ご父母の皆様

英語のおすすめ

今算国のみの方も是非ご受講ください。

満点英語の受講者は、あいさつや自己紹介ができるようになり、徐々に多くのものの名前が英語で言えるようになります。授業を通して英語に触れる事で、だんだん耳が英語に慣れてきます。そして、入塾して1年が経つと英文も少しずつ読めるようになってきます。例えば、好きな食べ物や道の尋ね方、週末の予定、お店での注文の仕方などを英語で質問したり、答えたりする事もできるようになります。



授業で使用するテキストはカラーでイラストもあるので楽しく学べます。CDもついていて、ご家庭でもテキストの英文を目で追ったり、イラストからどんな場面かを想像しながら読んだりできるので、ぜひお家でも聴かせてあげてください。



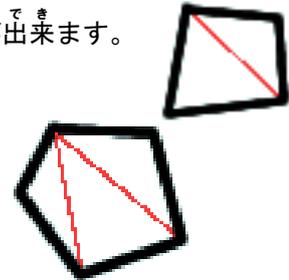
また、授業開始後、5分程使って“ファイブクエスチョン”というものを実施します。これは、前回の授業でやった内容から5問問題を出すので、みんなとても頑張るほぼ満点をとってくれます。〇×で答えるものや英単語を答えるものなどがあります。“ポイント制度”は、出席で1ポイント、ファイブクエスチョン1問正解で1ポイントつきます。全部で35ポイントたまるとプレゼントがもらえるので、みんな一生懸命取り組んでいます。



まんげん解説講座～多角形の角度の和～

三角形や四角形の内角(内側の角)の和がいくつになるかということを知っている生徒は多いでしょう。では、五角形やそれ以上の数の角を持つような図形では内角の和はいくつになるのでしょうか？
 今月は多角形の角度のきまりについての説明をします。まず、四角形からおさらいしてみましょう。

四角形の頂点を結んで線を引くと右の図のようになりますね。
 このように、四角形は三角形が2つついたものというふうに考えることができます。
 だから、内角の和も三角形2つ分、 $180^\circ \times 2 = 360^\circ$ となるのです。



五角形の場合でも全く同じように考えることができます。
 頂点を結ぶと右のように三角形が3つあることがわかります。
 つまり内角の和は $180^\circ \times 3 = 540^\circ$ となります。
 この考え方を使えば六角形、七角形・・・とどんどん調べることが出来ます。

調べたことを表にまとめると、
 おもしろいことを発見できます。
 それぞれの図形の内角の和は、
 $180 \times (\text{三角形の数})$ なのですが、
 その三角形の数は、必ず(頂点の数-2)になっています。
 つまり、 $180 \times (\text{頂点の数} - 2)$
 を計算すると、最初から答えを出すことができます。
 このことは中学生になってから詳しく勉強します。

	四角形	五角形	六角形	七角形
頂点の数	4	5	6	7
対角線を引いてできる三角形の数	2	3	4	5
内角の和	$180^\circ \times 2 = 360^\circ$	$180^\circ \times 3 = 540^\circ$	$180^\circ \times 4 = 720^\circ$	$180^\circ \times 5 = 900^\circ$

